浜田漁業部

「第八十八清福丸」竣工

平成19年度に始まった水産庁の漁業構造改革総合対策事業のうち、「もうかる漁業創設支援事業」に採択された遠洋マグロ延縄漁船の実証船第1号となる「第八十八清福丸」（387㌧）が竣工する。4月14日には地元岩手県の宮古漁港で一般を含めた関係者へのお披露目が行われ、5月からインド洋での操業を開始する計画だ。遠洋マグロ漁業の次の時代を築くために省エネを徹底し、これまでを上回るマグロの高品質化に向けた取り組みを行うほか、地元との連携なども取り入れた次代の遠洋マグロ漁業を切り開く第八十八清福丸にスポットを当てた。

徹底脱血された、シミや血栓のないマグロのブランドマーク

次代の遠洋マグロ船として竣工する第八十八清福丸

祝辞

宮古を元気にする省エネ技術結集した船

水産庁次長　宮原正典氏

㈲浜田漁業部の第八十八清福丸が竣工されましたことを心からお祝い申し上げます。

この第八十八清福丸は、平成19年度から始まった漁業構造改革総合対策事業のうち、もうかる漁業創設支援事業の実証船として5月から操業を開始することになっております。

本船は、これまで開発された省エネ技術を結集させた漁船です。遠洋マグロ延縄漁業においては、厳しい漁業規制に加え、魚価の低迷、燃油や資材価格の高止まりなどにより厳しい経営環境にあります。さらに、オゾン層の破壊を防止するためのフロン規制からも、確実に新船建造を進められ、竣工にまでこぎ着けられたことに、敬意を表します。

第八十八清福丸は、本格的な生産体制の見直しが必要とされています。本船は、冷凍機の1号としてふさわしい内容であると考えております。浜田社長をはじめ、改革計画に参加されました皆さまの創意工夫と熱意の成果であります。私としましては、これらの取り組みが計画通り実施され、被災地域に元気をもたらすものとなることを願っております。

高品質な"マグロづくり"の成果に期待

日本かつお・まぐろ漁業協同組合組合長　石川賢廣氏

東日本大震災の被災地・岩手県宮古市に本拠を構える浜田漁業部が、会社、自宅ともに被災されなかっ

支援事業による遠洋マグロ延縄漁船の新船第1号としてふさわしい内容であると考えております。浜田社長をはじめ、改革計画に参加されました皆さまの創意工夫と熱意の成果であります。

水産庁の漁業構造改革総合対策事業のうち「もうかる漁業創設支援事業」として採択されたプロジェクトの中で、改革型遠洋マグロ漁船としては一番船となる注目の遠洋マグロ漁船であります。

さらに、もうかる漁業のプロジェクト実証船として、ナノバブル装置を活用した高品質マグロ魚価形成を目指されることとなっており、厳しい漁業経営を乗り切ろうとしている遠洋マグロ漁業者に勇気とやる気を与えるものであります。

実証期間となる3年間、第八十八清福丸は、さまざまな課題と向き合われることになると思います。

が、それを乗り越え、大きな成果を挙げられることを願ってやみません。航海の無事と大漁をお祈り申し上げます。

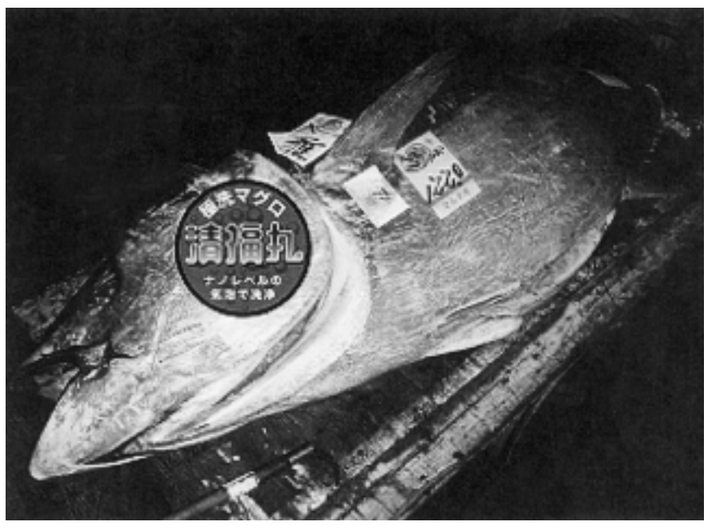
改革のコンセプトは"原点に返る"

第八十八清福丸のコンセプトは、「原点に返る」。ただ、昔に返るだけではない。大きく時代が変わり、環境、人も変わっている中で、時代に合ったいい伝統を取り戻すというのがねらいとなっている。

例えば、日本人の乗組員が多くいた時代には、マグロの処理一つにおいても技術をもった職人がいた。しかし、外国人乗組員が多くなった今は、職人がいない分をナノバブルなどの新しい技術の力を借りて実現する。それが、日本の伝統に立ち返るマグロづくりということになる。

第八十八清福丸の新しい主な取り組みを追ってみる。例えば、血抜き（脱血）。これまでは、水揚げ後、いかに早くエラや内臓を取り除き冷凍させるかが勝負とされてきた。しかし、今回は、生きた状態で漁獲されたマグロを選別し、魚体を傷めない低反発のマット上で尾とエラヨコの動脈をカットし、ナノバブルの脱血タンクに入れて血を抜く。その後、再び、低反発マットの上で神経抜きやエラ、内臓、ヒレの処理。最後に、冷海水のナノバブルタンクを経て凍結室に入れる。血抜きを完全にするほか、冷海水のナノバブルタンクに入れることで、洗浄と身焼けの防止が可能になる。

徹底した脱血処理をしたマグロには、ブランド化する目的でシールも貼られる予定で、通常のマグロよりキロ50円高い価格で買い取ることが流通サイドとも合意しているという。



動き出した原点に返る高品質マグロづくり

徹底するのは脱血だけではない。燃油高の中で省エネにも随所に工夫を凝らしている。プロジェクトの計画では、冷凍機のコンピューター制御の採用や低燃費型の船底塗料、PBCF（プロペラボス・キャップ・フィン）の採用などあらゆる面での省エネ化が図られているのも特徴といえるだろう。

また、地元の貢献では、マグロ類の未利用部分や延縄で漁獲される雑魚などは、宮古水産高校や老人介護施設用の食事提案用として提供され、新しいマグロの商品開発も進められる。いろいろな角度から利用されるマグロ商品の間口を拡げる取り組みとして、その成果に期待は高い。

第八十八清福丸主要要目　起工：平成23年8月1日　進水：平成23年12月7日　竣工：平成24年3月31日

主要寸法等			
長さ	（全長）	56.51㍍	
長さ	（垂線間）	49.10㍍	
幅	（型）	8.80㍍	
深さ	（型）	3.80㍍	
計画満載吃水	（型）	3.44㍍	
総トン数		387㌧	
魚倉容積	（コイルバラ打内面）	462.51立方㍍	
清水槽容積	（全容積）	26.95立方㍍	
燃料油槽容積	（全容積）	294.51立方㍍	
潤滑油槽容積	（全容積）	11.21立方㍍	
定員		25人	
速力	（試運転最大）	13.19㌔	
速力	（航海）	10.75㌔	
甲板機械			
ラインホーラー	泉井鐵工所	電動油圧　22ｋＷ	1台
投縄機	〃	油圧駆動	1台
ブラン巻機	〃	電動駆動	3台
浮縄揚機	〃	油圧駆動・縦型	1台
投餌機	〃	電動駆動	1台
魚引寄機	〃	電動　0.4ｋＷ	1台
省力化機械	〃	油圧駆動	1台
ベルトコンベアー	フジイ工機	電動　0.4ｋＷ	2台
ベルトコンベアー	〃	電動　3.7ｋＷ	1台
鮪洗浄機	キョーワ	電動　3.7ｋＷ	1台
脱血装置			1式
バブル発生装置	富喜製作所	電動駆動　30Ｗ	1台
冷海水ナノバブル装置			1式
バブル発生装置	富喜製作所	電動駆動　30Ｗ	1台
海水冷却装置	日新興業	新冷媒対応Ｒ404Ａ	1台
機関設備			
主機関	新潟原動機	68M28ＢＦＴ－3 736kW×350min－1	1台
プロペラ	かもめプロペラ	4翼固定ＰＢＣＦ付き	1台
1号発電機	大洋電機	330ｋＶＡ　AC225Ｖ	1台
同上原動機	新潟原動機	6ＮＳＤ－Ｇ 294kW×1200min－1	1台
2号発電機	大洋電機	330ｋＶＡ　AC225Ｖ	1台
同上原動機	新潟原動機	6ＮＳＤ－Ｇ 294kW×1200min－1	1台
冷凍設備			
冷凍装置	日新興業	新冷媒対応Ｒ404Ａ	1式
冷凍機	長谷川鉄工	ＶＺＬ62ＢＭＴ75Ｍ うち2台インバーター制御対応	3台
無線・航海設備			
ＧＭＤＳＳ：Ａ3水域			
ＭＦ／ＨＦ無線装置	古野電気	ＦＳ－5070	1台
ＭＦ／ＨＦ無線装置	〃	ＦＳ－1570	1台
カラー魚探	〃	ＦＣＶ－1500Ｌ	1台
カラー潮流計	〃	ＣＩ－68	1台

日本かつお・まぐろ漁業協同組合
日本かつお・まぐろ漁業協同（株）
マグロウ
代表理事組合長　石川賢廣
〒135-0034　東京都江東区永代2－31－1　TEL 03－5646－2380
www.japantuna.net/

祝
第八十八清福丸
竣工
新潟造船株式会社
代表取締役社長　田中哲雄
〒951-8011　新潟市中央区入船町四丁目3776番地
TEL 025-222-6121　FAX 025-223-7621
URL:http://www.mes.co.jp/nsr/

築地魚市場株式会社
代表取締役社長　廣石清治
〒104-8403　東京都中央区築地5－2－1　（東京都中央卸売市場内）
ＴＥＬ 03－3541－6130（代）　ＦＡＸ 03－3546－0224